

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	北野 修斗	学校名	三豊市立麻小学校
実施学年	6年	教科	算数
单元名	データを活用した問題解決		

《学びを深めたいポイント》

- ・ データの整理方法を学び、視覚的にデータを整理する力を育てる。
- ・ データを視覚的に整理することで、データからどのような情報を引き出せるかを学ぶ。
- ・ ドットプロット、度数分布表、ヒストグラムを使いこなし、データから必要な情報を引き出す力を高める。
- ・ 個別最適な学びを通じて、児童一人ひとりが自分のペースで考え、協働的な学びを通じて他者との意見交換を活発にし、問題解決に取り組む力を養う。
- ・ 発表ノートを活用して、データ整理の過程を記録し、振り返りを通じて学びを深める。

《SKYMENU 活用のポイント》

○ 効率的なデータ整理と視覚化

SKYMENU Cloud を使えば、データの入力や修正をリアルタイムで簡単に行える。ドットプロットや度数分布表、ヒストグラムをすぐに確認・修正できるため、データ整理の時間が短縮され、他の作業に集中する時間が増える。

○ 班での協働学習の促進

SKYMENU Cloud はオンラインでの共同作業が可能で、グループメンバーがリアルタイムでデータ入力や修正を反映できる。これにより、役割分担がしやすく、意見交換も活発に行える。

○ グラフや表の視覚的な明確化

作成したグラフや表を簡単に確認でき、データの傾向や特徴をすぐに把握できる。発表ノートにデータを挿入することで、視覚的に理解が深まり、発表時に共有もしやすくなる。

○ 振り返りと学びの深堀り

作成したデータやグラフは授業後でも簡単に振り返ることができ、他のグループの発表内容と照らし合わせながら学びを深めることができる。次のステップに繋げる考察が可能になる。

○ クラス全体での共有と学び合い

発表ノートやポジショニング機能を使えば、グラフやデータ、立場やその理由をクラス全体で簡単に共有できる。他のグループのアプローチや視点を学び合い、データ活用の方法についてクラス全員で考えることができる。

○ 個別最適化された学びのサポート

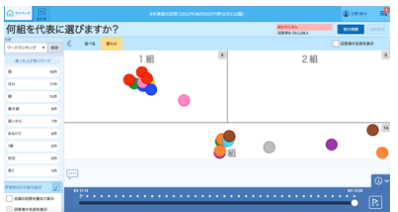
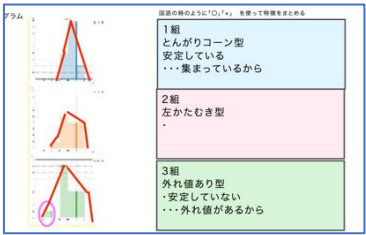
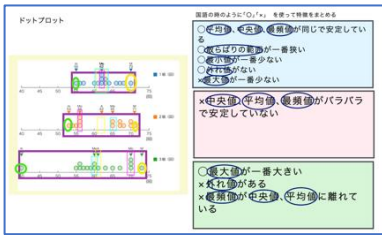
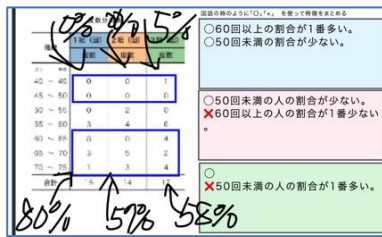
教師は児童の進捗をリアルタイムで確認でき、進捗が遅れている児童に対して個別にサポートできる。理解度に差がある児童には適切なフィードバックを与え、学習を個別化することができる。

○ 授業の進行がスムーズになる

SKYMENU Cloud を使うことで、データ作成や修正、発表ノートへの挿入が短時間ででき、授業の進行がスムーズになる。グラフや表をすぐに活用でき、効率的に学習を進めることができる。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	<p>どのクラスを学校の縄跳び大会の代表に選ぶかを考える目的があることを知る。</p> <p>縄跳び大会の代表選びのために必要なデータをどう整理・分析し、最も適切な選択肢を導き出すと いかにについて見通しをもつ。</p>	<p>SKYMENU Cloud を使って、課題を児童に配布する。</p> <p>データ入力や整理をスムーズに進められるよう支援する。</p>	<p>SKYMENU Cloud を活用することで、課題の配布や進行が効率的になり、児童がデータを入力する際に時間を短縮できる。また、デジタルツールを使用することで、データの修正や確認を簡単に行えるようになる。</p>
展開	<p>グループに分かれて、ドットプロット、度数分布表、ヒストグラムを班で作成する。</p> <p>作成したグラフや表をグループ内で発表ノートのグループワークを活用することで共有し、それぞれの視点からデータをどのように整理したかを話し合う。</p> <p>各班で、どのチームを代表チームに選ぶか、またその理由は何か、ポジショニング機能にまとめる。</p> <p>各班が結果をクラス全体で発表し、異なる視点や整理方法を学び合う。</p>	<p>発表ノートを活用して、各グループはグループワークを使いながら、データを入力し、グラフや表を作成する。グループワークにより、グループ内で意見を交換しながらデータ整理が進み、効率的に作業が進む。また、作成したグラフや表を発表ノートに挿入することで、結果をクラス全体で視覚的に共有しやすくなる。</p>	<p>発表ノートを活用することで、児童は効率的にデータ整理を進めることができ、グラフや表を作成する時間が短縮される。発表ノートの機能を通じて、児童は他のグループの成果を視覚的に確認し、学び合うことができる。</p> <p>また、発表ノートは後から振り返りやすく、学びを定着させるための貴重なツールとなる。</p> <p>グループごとにデータを整理し、視覚化した結果を発表することで、児童は協力して問題解決に取り組む力を育むことができる。</p>
まとめ	<p>各グループで作成したグラフや表を発表し、クラス全体でどの方法が最も適切だったかを議論する。</p> <p>ドットプロット、度数分布表、ヒストグラムそれぞれに注目し、どの方法がどんな特徴を持ち、どの場面に適しているかを話し合う。</p>	<p>発表ノートで作成したグラフや表を整理し、クラス全体で視覚的に確認する。また、ポジショニング機能を活用し、立場を明確にさせる。これにより、他のグループの方法を比較したり、どの方法がデータの特徴をうまく表しているかを理解したりしやすくなる。また、各児童は発表ノートに自分の考えや気づきを記録し、学びを深める。</p>	<p>作成したグラフや表を簡単に修正・編集したり、立場を明確にできたりする点が大きなメリットだ。授業の進行がスムーズになるとともに、児童の理解を深めるために視覚的な確認を繰り返すことができる。発表ノートで自分の学びを記録し、後で振り返ることができるため、学びの定着が促進される。</p>



《実践を振り返って》

SKYMENU クラウドを活用することで、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させることができた。児童たちは自分のペースでデータ整理やグラフ作成を進めることができ、SKYMENU のツールを使うことで作業が効率的に進んだ。特に、デジタルツールを使用することで、手間が減り、より集中して学習に取り組むことができた。また、グループでの共同編集機能であるグループワークを通じて、グループ内で意見交換やディスカッションが活発に行われ、協働的な学びの重要性が実感できた。このように、個々の児童が自分のペースで進めつつ、グループでの協力を通じて知識を深め合うことができる環境が整ったことは、大きな成果だと感じている。

作成したグラフや表を発表ノートに挿入し、クラス全体で視覚的に確認し合いながら進めることができたことで、異なるアプローチや視点を学ぶことができ、各自が自分の方法や考えをしっかりと整理することができた。特に、他者の視点を取り入れながら、自分のデータ整理方法の特徴を理解することができた点は非常に良い学びの機会となった。また、発表ノートに記録した自分の考えや気づきが後で振り返ることを可能にし、学びを定着させる手助けにもなった。

今後は、個別の学習進度に合わせた支援をさらに強化し、SKYMENU の活用を通じて、児童一人ひとりが自分のペースで学べるようにしつつ、グループでの協力を通じて学びを深める場をもっと広げていきたい。また、課題に取り組む過程で出てくる異なるアプローチや疑問に対して、教師としてもっとサポートできるように、具体的な問いかけや支援方法を工夫していきたい。